

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 24 年 6 月 21 日 (2012.6.21)

【公表番号】特表 2011-524656 (P2011-524656A)  
 【公表日】平成 23 年 9 月 1 日 (2011.9.1)  
 【年通号数】公開・登録公報 2011-035  
 【出願番号】特願 2011-507626 (P2011-507626)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 R 1/10 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 R 1/10 1 0 1 B

H 0 4 R 1/10 1 0 1 A

H 0 4 R 1/10 1 0 1 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 24 年 4 月 27 日 (2012.4.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ヘッドセットにおいて、

前記ヘッドセットがユーザーによって着用中であるか否かを表すヘッドセットの方位を画定するセンサーデータを得るためのセンサー論理部と、

前記ヘッドセットを前記センサーデータに基づいて構成するための構成論理部と、を備え、

前記センサーデータが動作シグネチャとヘッドセット方位データとを含み、該動作シグネチャはヘッドセットの物理的動作の指標であり、前記ヘッドセットの方位はセンサーデータによって画定されており、前記構成論理部は前記動作シグネチャとヘッドセットの異なる物理的動作の複数の所定の動作シグネチャ指標とを比較し、該比較に基づいてヘッドセットの方位と一致した動作シグネチャに基づいてヘッドセットが着用中であるかどうかを判定することを特徴とするヘッドセット。

【請求項 2】

前記ヘッドセットが着用中であることと関連付けられる特定の方位を画定するように構成されているヘッドセット形状を更に備えており、該ヘッドセット形状は、前記特定の方位が、確実に、前記ヘッドセットがどこか他の場所に置かれているときに繰り返されることのないように、構成されている、請求項 1 に記載のヘッドセット。

【請求項 3】

前記ヘッドセットは、以下のもの、即ち、イヤープッド、ヘッドフォン、マイクロフォンとスピーカーを含むヘッドセット、スピーカーが組み込まれた眼鏡、のうちの 1 つを備えている、請求項 1 に記載のヘッドセット。

【請求項 4】

前記構成論理部は、前記ヘッドセットを、待機から及び待機へ切り替える電力論理部を備えている、請求項 1 に記載のヘッドセット。

【請求項 5】

前記センサーは、

前記ヘッドセットをユーザーの頭部に宛がうことと前記ヘッドセットを前記ユーザーの

頭部から取り外すことを備えるジェスチャを検出する加速度計を備えている、請求項 1 に記載のヘッドセット。

【請求項 6】

前記センサーは、

特定の行動と関連付けられている動作の定義された動作シグネチャを備える動作コマンドを検出するための加速度計と、

コマンドストアと干渉するためのコマンド論理部を備え、該コマンドストアは異なる動作コマンドと関連する複数の動作シグネチャを格納しており、各動作コマンドは特定のアクションに係する定義されたセットの動作を含んでおり、

及び、

前記動作シグネチャに基づいて前記動作コマンドと関連付けられているコマンドを識別するためのコマンドマッパーと、を備えている、請求項 1 に記載のヘッドセット。

【請求項 7】

前記動作コマンドは、以下のもの、即ち、前記ヘッドセットが着用中でないときのシェイクシェイクコマンドと、前記ヘッドセットが着用中であるときのタップタップコマンドのうちの 1 つ又はそれ以上を備えている、請求項 6 に記載のヘッドセット。

【請求項 8】

前記識別されたコマンドに関して、フィードバックを前記ユーザーに提供するためのフィードバック論理部を更に備えている、請求項 6 に記載のヘッドセット。

【請求項 9】

前記ヘッドセットが動いていないとき、即ち前記ヘッドセットがユーザーによって着用中ではないことが表されているとき、前記ヘッドセットを自動的に待機に入れるための電力論理部を更に備えている、請求項 4 に記載のヘッドセット。

【請求項 10】

前記ヘッドセットの設定を前記センサーデータに基づいて調節するためのプロファイル調節部を更に備えている、請求項 1 に記載のヘッドセット。

【請求項 11】

前記センサーデータに基づいて前記ヘッドセットにリンクされている携帯デバイスの設定を調節する前記プロファイル調節部を更に備えている、請求項 10 に記載のヘッドセット。

【請求項 12】

単ボタンと非視覚的フィードバックを利用した前記ヘッドセットの機能の制御を可能にするためのボタン論理部を更に備えている、請求項 1 に記載のヘッドセット。

【請求項 13】

ヘッドセットの動作シグネチャを、センサーデータに基づいて求める段階であって、前記動作シグネチャが前記ヘッドセットの物理的動作の指標であり、前記動作シグネチャとユーザーの異なる動作を指示する複数の異なる所定の動作シグネチャとの比較に基づいて前記センサーデータから判定されるようになっている段階と、

前記ヘッドセットがユーザーによって着用中であるか否かを、前記比較によって一致した前記動作シグネチャに基づいて判定する段階と、

前記ヘッドセットを、前記ヘッドセットがユーザーによって着用中であるか否かに基づいて構成する段階と、から成る方法。

【請求項 14】

前記異なる所定の動作シグネチャが少なくともユーザーの耳に上にあるヘッドセットの位置を示す動作シグネチャをユーザーの耳から前記ヘッドセットが離れたことを示す動作シグネチャを含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記コマンドは、以下のこと、即ち、前記ヘッドセットの構成を改変する、前記ヘッドセットに連結されているデバイスの構成を改変する、前記ヘッドセットの出力特性を改変する、前記ヘッドセットに連結されているデバイスの出力特性を改変する、のうちの 1 つ

又はそれ以上を備えている、請求項 1 4 に記載の方法。

【請求項 1 6】

ユーザーが、単ボタンと音声フィードバックを利用して、メニューのセットを進んで行けるようにする単ボタンインターフェースを提供する段階を更に含んでいる、請求項 1 3 に記載の方法。